



85

□ 館長随想 「平成」の終わりに「昭和」の貴重な映像を鑑賞するのにも一興

図書館長 藤尾 均

□ 新刊が入っています

□ 図書館からのお知らせ
長期貸出 開館時間変更 ほか

昭和54年頃の
図書館外観と館内

館長随想 「平成」の終わりに「昭和」の貴重な映像を鑑賞するのにも一興

「平成」の時代もいよいよ終わろうとしています。5月1日に新天皇が即位しますが、それに先立つ4月1日には政府から新たな元号が発表されます。新元号は何か、予想するのも楽しいですね。

俳人の中村草田男（くさたお、1901（明治34）年～1983（昭和58）年）が1931（昭和6）年に作った有名な俳句に、「降る雪や明治は遠くなりけり」というのがあります。私のように昭和の前半に生まれた人間、つまり、祖父母をはじめとする明治生まれの人々が徐々に消えていった時代に生まれ育った人間には、「明治は遠くなりけり」は、まさに実感としてわかりました。

学生の皆さんの大半は「平成」の生まれですから、「平成」という元号やその時代にはいろいろと感慨があるでしょうが、「明治」「大正」はおろか「昭和」と聞いても、生まれる前の元号ですから、何の感慨も湧かないかもしれません。しかし、皆さんが将来、医療現場で接することになる患者さんたちの多くは、「昭和」生まれのとりわけ高齢者の方々です。年齢の離れた彼らとの間にコミュニケーション・ギャップを感じることも予想されます。そういうギャップを乗り越えるためには、彼らが生まれ育った時代（終戦直後から昭和末年頃まで）の世相（世の中のありさま）に関する知識を、皆さんの側が、あらかじめ映像資料によって「教養」として蓄えておく必要があります。

そのようなわけで、「平成」が終わるこの機会に敢えて「昭和」を映像で振り返るのにも一興ではないかと思ひ、図書館所蔵のDVDコレクションの中から昭和の映像を多数収録したものを紹介することにします。講談社から刊行されたDVD『昭和ニッポン 一億二千万人の映像』全24巻。—私はこれを、ここ10年ほど、一般教養の選択科目「世相史」の教材として使ってきました。この機会に皆さんも、全巻を通観してみても如何でしょう。

とりわけ、1959（昭和34）年の今上天皇・皇后両陛下（当時の皇太子・明仁親王と日清製粉社長令嬢の正田美智子さん）御成婚までを中心に扱った第8巻（「美智子さまブームと東京タワー」）と第9巻（「皇太子ご成婚と長嶋天覧試合さよならホームラン」）、1964（昭和39年）年のオリンピック東京大会を中心に扱った第12巻（「オリンピック景気とケネディ大統領暗殺」）と第13巻（「東京オリンピックと新幹線開業」）、1970（昭和45年）年に大阪で開催された万国博覧会を中心に扱った第17巻（「大阪万博と公害多発」）、1989（昭和64・平成元）年の昭和天皇崩御と今上天皇即位を中心に扱った第24巻（「裕次郎、ひばり逝去と昭和天皇崩御」）の計6つの巻は、いまや、タイムリーな必見映像といっても過言ではありません。

来たる新元号の時代には、皆さんもすでに御承知のように、東京オリンピックと大阪万博がそれぞれ再び開催されます。昭和の時代の東京オリンピックと大阪万博の映像を見ておけば、新しいそれらに一段と興味が湧くでしょうし、医療現場での入院患者さんたちなどとの会話にも、きっと弾みがつくことでしょう。

なお、かつての東京オリンピックに関しては、昭和映画界の巨匠監督である市川崑が総監修を務めた長編記録映画のDVD『東京オリンピック』（オリンピック東京大会組織委員会企画・監修、東京オリンピック映画協会製作、1965（昭和40）年東宝系劇場公開）も必見です。この映画は、日本においてドキュメンタリー映画・記録映画というジャンルを確立した作品として今なお高く評価されています。

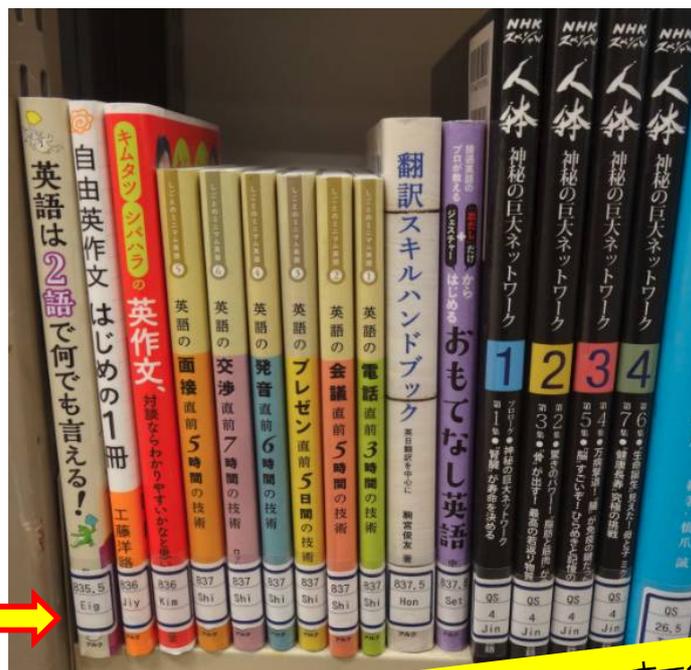
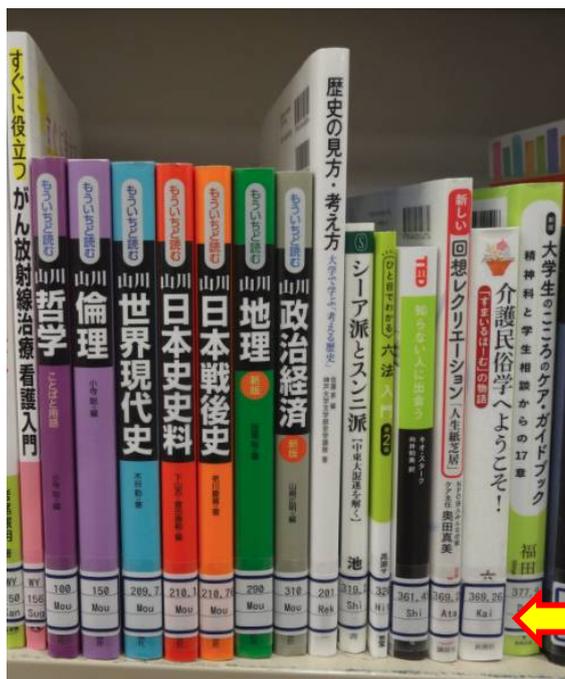
また、かつての大阪万博に関しては、やはり昭和映画界の巨匠監督である谷口千吉（女優・八千草薫の夫）が総監督を務めた公式長編記録映画のDVD『日本万国博』（日本万国博覧会協会企画、ニュース映画製作者連盟製作、1971（昭和46）年松竹・大映・日活系劇場公開）も必見です。この映画では石坂浩二が主要ナレーターを務めています。彼は今でも俳優として活躍していますね。

DVDなどの視聴覚資料は、2階の視聴覚コーナーにあります。DVDは開館中に館内のみの利用で、カウンターで貸し出します。視聴覚コーナーのブース機器も利用できます。「東京オリンピック」「日本万国博」は現在手配中です。

新刊が入っています。春を待ちながら、読書もいかがでしょうか。

現在図書館に、新刊が続々と入っています。医学書・看護学書はもちろんですが、専門書ではなく、気軽に読めて、教養となりそうな本もたくさん入ってきました。一部を写真でご紹介します。このほかにもいろいろありますので、図書館2階の新刊コーナーを覗いてみてください。

図書館のOPACで「図書館サービス」－「図書新着案内」をクリックすると一覧できますので、こちらもご利用ください！



館内のどこの棚にあるかは、このラベルを基に探します！

表面でご紹介した視聴覚資料など、コーナーへ置いてある資料もあります。OPACの表示で知ることができますが、見つけれないときは、カウンターにご相談くださいね！

図書館からのお知らせ

・春休み期間の長期貸出が始まっています。

返却期限は、4月8日(月)までです。

3月で卒業予定の方は、3月15日(金)までです。

いつもより長く借りることができますので、

どうぞご利用ください。

対象は、図書のみです。



・複数の座席を占有しないでください。

この時期は、コート類をはじめ資料など持込荷物が増える傾向があります。

隣の席に荷物を置くなど、一人で複数の席を使わないようにしてください。

多くの方が利用できるよう、ご協力ください。



・大きな荷物は持ち込まないでください。

キャスター付きバッグ、巨大サイズのカバン、大きなスポーツ用品等を持ち込もうとする人がいますが、通路を塞いだり、複数の席を使う原因となることから、**持込はお断りします。**

・2月22日(金)～4月5日(金) 閉館時間は午後5時です。

試験期は、2月21日(木)までとなり、試験期の特別利用は、8時45分で終了します。

2月22日以降は通常期で、特別利用は、教職員、臨床・臨地実習中学年の申請者、地域の医療従事者の方(今年度は、3月末日まで)です。期間により、特別利用エリアが変更しますので、図書館ホームページの利用案内-学内-「特別利用」の項目でご確認ください。

入館時には、**学生証・身分証明書を提示してください。**

臨床実習中の学生さんのなかには、Student Doctor 認定証を見せてくれる方もいるのですが、図書館では、学生証の提示が必要です。図書館に入る前に、ちょっと気をつけてくださいね！

